

科目名	雑貨製作実習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	通年
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	120	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

雑貨製作の技術・専門知識を習得し、さらに自分のオリジナルデザインを形にできるようになる。
各自のブランディングに沿ったファッション雑貨を提案し、製作、商品化を目指す。

【科目の概要】

トレンド分析、ターゲット分析を元に、バッグ・ポーチ・アクセサリ等幅広く、オリジナル雑貨を製作する。
季節に合った素材を使用し、シーズン性、販売の現場に合った雑貨を製作する。

90分/コマ	後期	後期
1・2	PVCバッグ デザイン	31・32 上安祭商品製作
3・4	↓ パターン製作	33・34 ↓ 商品最終提出
5・6	↓ 装飾作成	35・36 HMJ 布小物製作 デザイン
7・8	↓ 胴縫製	37・38 HMJ 布小物製作
9・10	↓ 胴・持ち手縫製	39・40 ↓ サンプル提出
11・12	↓ 企画の仕事の流れ ↓ 役職ロールプレイング	41・42
13・14	↓ 仕様書作成 バッグ	43・44
15・16	↓ 仕様書作成 帽子	45・46
17・18	↓ 上安祭商品製作	47・48
19・20	↓	49・50 ↓
21・22	↓	51・52 卒業式用 アクセサリ製作
23・24	↓	53・54 ↓
25・26	↓	55・56 ↓
27・28	↓	57・58 ↓
29・30	↓ テスト ↓ 商品一次提出	59・60 ↓ テスト

【成績評価方法】

課題作品評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

ファッション雑誌

【教材・教具】

筆記用具、デザインパッド、彩色用具一式

科目名	帽子制作&造花制作	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	通年
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	120	作成者	西井 亜由美

【科目の到達目標】

フェルト帽体や、天然繊維(麦わら、麻ブレード、シゾール、麻ケンマ等の帽体)を木型への型入れによる基本的な型の帽子制作技術と、基本的な造花制作技術(裁断・染色・コテ・組み立て)を習得し、オリジナルデザインへの応用力を養う。

【科目の概要】

近年、マルチスキルな人材が求められる。帽子制作&造花制作Ⅱでは天然素材を使用した帽子と、造花によるコサージュを制作し、帽子・コサージュの基本知識を身につける。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1・2	オリエンテーション 帽子の型・造花制作の説明 夏帽体選 シゾール、麻ケンマ等、天然素材		31・32 帽子⑤ <上田コレクションショー作品> 素材発注
3・4	造花① <カメラア> カット・コテ当て		33・34 クラウン形成・ブリム形成・スチーム トリミング・アレンジ
5・6	まとめ・仕上げ		35・36
7・8	帽子① <夏帽体> デザイン・クラウン型入れ・アプレビニール ブリム型入れ・スチーム・エッジング		37・38
9・10	トリミング・仕上げ		39・40 帽子④<株式会社SHINDO 企業コラボ> 1点完成
11・12	造花② <紫陽花> カット・染色・コテ当て		41・42
13・14	まとめ・仕上げ		43・44
15・16	帽子② <夏ブレード> デザイン・クラウン縫製		45・46 帽子⑤ <上田コレクションショー作品> 1点完成
17・18	ブリム縫製・エッジング		47・48 造花③ <薔薇> カット・染色・コテ当て
19・20	アプレビニール トリミング・仕上げ		49・50 まとめ・仕上げ
21・22	帽子③ <フェルト帽子> デザイン・クラウン型入れ		51・52 帽子⑥ <ヘッドドレス> デザイン・芯成形
23・24	ブリム型入れ・スチーム・エッジング トリミング・仕上げ		53・54
25・26	<修了テスト>		55・56
27・28	帽子④<株式会社SHINDO企業コラボ> デザイン・素材選		57・58 <修了テスト>
29・30			59・60 トリミング・仕上げ

【成績評価方法】

課題作品(デザイン・構成・テクニック・色彩感覚・全体の完成度)
課題作品の評価60%、修了テスト・小テスト30%、平常点10%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【教科書・参考書】

デザインの参考には各種ファッション誌、花の写真。技術面はプリントを配布する。
サロン・ド・シャポール学院『新版 造花の作り方』

【教材・教具】

裁縫道具・クラウン木型・ブリム木型・エッグアイロン・造花コテ各種

科目名	雑貨デザインⅡ-A	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	通年
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	120	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

・市場におけるファッション雑貨の位置づけ、企画サイクルを理解し、企画提案、販売までの提案ができる人材の育成を目指す

【科目の概要】

・デザイン力の発想、表現、具体化、発表を通し、市場に合った企画提案できる人材を目指す。

90分/コマ	後期	後期
1・2	【ロハスフェスタ】出店準備※春休み中	31・32 【HMJ】 出展ミーティング ブランドコンセプト イメージマップ
3・4	HEP振り返り 【ロハスフェスタ】出店準備	33・34 【HMJ】 商品デザイン提案
5・6	【ロハスフェスタ】出店準備	35・36 【HMJ】 サンプル製作
7・8	【ロハスフェスタ】出店準備	37・38 【HMJ】 サンプル製作
9・10	【ロハスフェスタ】出店	39・40 【HMJ】 商品製作
11・12	【ロハスフェスタ】振り返り	41・42 【HMJ】 商品製作 ミーティング
13・14	ブランディング講義 イメージマップ 画像ピック	43・44 【HMJ】 商品製作
15・16	プリント柄講義 リサーチ	45・46 【HMJ】 商品製作
17・18	プリント柄 レポート作成	47・48 【HMJ】 商品製作 ミーティング 価格決定
19・20	ブランド企画 雑貨製作	49・50 【HMJ】 商品製作
21・22	ブランド企画 雑貨製作 サンプル提出 ミーティング	51・52 【HMJ】 商品製作 商品タグ 台紙 パッケージ決定
23・24	ブランド企画 雑貨製作	53・54 【HMJ】 商品製作
25・26	ブランド企画 雑貨製作	55・56 【HMJ】 商品製作 VMD決定
27・28	ブランド企画 雑貨製作	57・58 東京研修
29・30	ブランド企画 雑貨製作 テスト 商品提出	59・60 【HMJ】出店振り返り レポート提出 テスト

【成績評価方法】

課題作品評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

ファッション雑誌

【教材・教具】

筆記用具、デザインパッド、彩色用具一式

科目名	ファッションデザイン&雑貨プランニング	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	通年
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	実習 80% 講義 20%
時間数	46	作成者	佐山 孝典

【科目の到達目標】

企画に必要な素材や製品の知識、トレンド情報の収集と分析から、商品企画とデザインができる。
多様化するファッション業界の現状と市場を分析しながらオリジナル企画を立案できる。

【科目の概要】

ファッション業界における雑貨商品市場を意識した企画を立案し、プレゼンテーションできる書類を作成する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	学外コンテスト応募 デザイン 1		9 上田学園コレクション 出品企画 4
2	学外コンテスト応募 デザイン 2		10 上田学園コレクション 出品企画 5
3	学外コンテスト応募 デザイン 3		11 上田学園コレクション 出品企画 6
4	学外コンテスト応募 デザイン 4		12 たつのワークショップ企画1
5	上田学園コレクション 出品企画 1		13 たつのワークショップ企画2
6	上田学園コレクション 出品企画 2		14 たつのワークショップ企画3
7	上田学園コレクション 出品企画 3		15 たつのワークショップ企画4
8	前期試験		16 学内出展作品ポートフォリオ 1
			17 学内出展作品ポートフォリオ 2
			18 学内出展作品ポートフォリオ 3
			19 学内出展作品ポートフォリオ 4
			20 学内出展作品ポートフォリオ 2
			21 ブランド、企業のリサーチシート1
			22 ブランド、企業のリサーチシート2
			23 後期試験

【成績評価方法】

平常点(授業態度)10%課題作品の評価60%理解力(テスト)30%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

コンピュータ、ファッション雑誌、ノート、描画用具

科目名	コンピューター演習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	通年
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20% 演習 80%
時間数	60	作成者	野田 光晴

【科目の到達目標】

修得したテクニックを更に深めクオリティの高いプレゼンテーションを目指す。
就職・将来の実務の為に作品プロモーションを行なう為のコンピューター技術を修得する。

【科目の概要】

プロモーションする為のポートフォリオ・企画書を制作する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	illustrator・Photoshop復習 ① マガジン作成		16 企画ボード制作Ⅱ ① ブランド企画 表紙・コンセプトMAP
2	illustrator・Photoshop復習 ② PCデザイン画		17 企画ボード制作Ⅱ ② ブランド企画 表紙・イメージMAP
3	ポートフォリオ制作 1 自己PRMAP制作		18 企画ボード制作Ⅱ ③ たつの企画 素材・ディテール・色・フゾク
4	ポートフォリオ制作 2 作品コンセプトと素材・色・フゾクMAP		19 企画ボード制作Ⅱ ④ ブランド企画 デザイン画MAP
5	ポートフォリオ制作 3 デザイン画MAP		20 企画ボード制作Ⅱ ⑤ ブランド企画 イメージフォトMAP
6	ポートフォリオ制作 4 イメージフォトMAP		21 企画ボード制作Ⅱ ⑥ プレゼンテーション
7	ポートフォリオ制作 5 プレゼンテーション		22 ポートフォリオ制作 表紙・コンセプトMAP
8	企画ボード制作Ⅰ ① 表紙・コンセプト		23 ポートフォリオ制作 イメージMAP
9	企画ボード制作Ⅰ ② イメージフォトMAP		24 ポートフォリオ制作 素材・ディテール・色・フゾクMAP
10	企画ボード制作Ⅰ ③ 素材・ディテール・色・フゾクMAP		25 ポートフォリオ制作 デザイン画MAP
11	企画ボード制作Ⅰ ④ デザイン画MAP		26 ポートフォリオ制作 イメージフォトMAP
12	企画ボード制作Ⅰ ⑤ イメージフォトMAP		27 ポートフォリオ制作 修正と追加
13	企画ボード制作Ⅰ ⑥ プレゼンテーション		28 ポートフォリオ制作 プレゼンテーション
14	PCデザイン画 コンテストデザイン		29 まとめ
15	前期末試験		30 後期末試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具

科目名	ヌーベルシャポーⅡ	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン	期	前期
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	2	授業形態	講義 10% 実習 90%
時間数	120	作成者	山本美千代

【科目の到達目標】

1年間で学んだ帽子の基本形にポリ芯での帽子をプラスし、パターンから裁断、縫製、仕上げまでを自ら製作し、技術を習得する。コラボ企画などではトータルでさらにデザイン性の高いレザーの帽子や平面を立体におこすなどの、物作りに努め帽子業界で通用する人材を育成する。

【科目の概要】

不景気と言われる昨今、売れている商品はシンプルで被りやすく、コーディネートしやすい帽子のため、授業では、基本の型をパターンから裁断、縫製、仕上げまで自ら製作することで技術を習得しする。習得した技術を用いて、デザイン性のある物まで対応できるようにする。

【授業計画】

前期		前期	
90分/コマ		90分/コマ	
1・2	プレタ作品製作 パターン	31・32	パターン修正
3・4	トワール製作	33・34	縫製
5・6	縫製	35・36	たつの作品 製作② パターン
7・8	パターン修正	37・38	トワール製作
9・10	縫製	39・40	縫製 テスト
11・12	縫製	41・42	縫製
13・14	ハンチング 製作 パターン	43・44	パターン修正
15・16	トワール製作	45・46	型出し練習
17・18	縫製	47・48	
19・20	パターン修正	49・50	
21・22	縫製	51・52	オリジナル作品
23・24	縫製	53・54	トワール製作
25・26	たつの作品 製作① パターン	55・56	パターン修正 縫製
27・28	トワール製作	57・58	縫製
29・30	縫製 テスト	59・60	テスト 復習

【成績評価方法】

課題作品 前期3点後期3点の評価60% テスト 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

各種ミシン(本縫い・二本針・腕) 縫製用具(押え各種など) アイロン 割台 製図用具一式 生地 芯地 その他

【実務経験の内容】

帽子製造メーカーを経て独立後、帽子の企画・製造を手掛けている実績を活かし、帽子製作に必要な知識・技術を指導する。

科目名	メタルワークⅡ	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	前期
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	2年生	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	柿迫恒儀

【授業の到達目標】

アパレル業界内の「アクセサリー/小物」と呼ばれるカテゴリでの商品作製に必要な技術の習得。
 貴金属アクセサリーや革小物を制作し、マテリアルの知識、及びデザイン、造形力を学ぶ。
 様々なマテリアルを理解し、幅広くアイテムを造り出す事の出来る、オリジナリティーのある人材の育成。

【授業概要】

各アイテムによる制作行程の理解、デザイン展開、基礎からの技術習得を目指す。
 貴金属アクセサリーや革小物等 実物作品を制作する。

【授業計画】 90分/コマ

- 第01～02回 WAX立体リングの制作(石入り) ～ デザイン、制図
- 第03～04回 WAX立体リングの制作(石入り) ～ WAX成形、加工
- 第05～06回 WAX立体リングの制作(石入り) ～ WAX成形、加工 ツリー製作
- 第07～08回 WAX立体リングの制作(石入り) ～ 鋳造
- 第09～10回 WAX立体リングの制作(石入り) ～ キャスト上がり仕上加工 成形
- 第11～12回 WAX立体リングの制作(石入り) ～ キャスト上がり仕上げ
- 第13～14回 銀線銀板で作るリンクブレス制作 ～ デザイン、制図
- 第15～16回 銀線銀板で作るリンクブレス制作 ～ シルバーチェーン 線加工 成形
- 第17～18回 銀線銀板で作るリンクブレス制作 ～ シルバーチェーン 線加工 成形
- 第19～20回 銀線銀板で作るリンクブレス制作 ～ ロー付け、曲げ加工
- 第21～22回 銀線銀板で作るリンクブレス制作 ～ ロー付け、曲げ加工
- 第23～24回 銀線銀板で作るリンクブレス制作 ～ 留め具部成形、加工
- 第25～26回 銀線銀板で作るリンクブレス制作 ～ 留め具部成形、加工
- 第27～28回 銀線銀板で作るリンクブレス制作～ 成形、加工 金具取り付け 仕上げ
- 第29～30回 テスト・まとめ

【成績評価方法】

作品(技術、デザイン、完成度)50%
 試験30%
 平常点(課題全提出、締め切り期日の厳守、授業態度)20%

【教科書・参考書】

配布プリント(制作工程プリント)
 実物見本 サンプル見本

【教材・教具】

バーナー、ローラー等制作機器、彫金工具一式
 ミシン、革縁漉き機、革物工具等

科目名	商品研究	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	後期
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	2年生	授業形態	講義 20% 実習80%
時間数	60	作成者	
【科目の到達目標】 産学官連携産地コラボ展示作品制作や上田学園コレクション他学科コラボ作品製作を中心に雑貨アイテムのクリエイションとテクニックを向上させる。			
【科目の概要】 コラボレーション企画にて産地の現場の方や他分野の方とのコミュニケーションを行いデザインや製作を行う			
【授業計画】 90分/コマ			
<p>1・2 市場から考える商品企画① 現状のアパレル方向性</p> <p>3・4 市場から考える商品企画② 商品と価格の関係</p> <p>5・6 市場から考える商品企画③ 年間MD週</p> <p>7・8 スタイリングから学ぶ商品構成① リサーチとターゲットとコンセプト</p> <p>9・10 スタイリングから学ぶ商品構成② コンセプトからのデザインイメージ</p> <p>11・12 スタイリングから学ぶ商品構成③ 各アイテムの組み立て</p> <p>13・14 スタイリングから学ぶ商品構成④ デザインの方向性</p> <p>15・16 スタイリングから学ぶ商品構成⑤ プレゼンテーション</p> <p>17・18 上田学園コレクション コラボ企画製作①</p> <p>19・20 上田学園コレクション コラボ企画製作②</p> <p>21・22 上田学園コレクション コラボ企画製作③</p> <p>23・24 OEMからの商品企画① OEMの説明とブランド依頼からのリサーチ</p> <p>25・26 OEMからの商品企画② 依頼内容と競合ブランドの分析</p> <p>27・28 OEMからの商品企画③ デザインと商品構成</p> <p>29・30 OEMからの商品企画④ プレゼンテーション</p>			
【成績評価方法】 提出物評価60% テスト30% 授業態度10%			
【教科書・参考書】			
【教材・教具】			

科目名	雑貨デザインⅡ-B	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	通年
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	90	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

・プレゼンテーション力を培い、製作から販売までのブランド・商品のPR方法、表現方法を習得する。

【科目の概要】

・企画提案、プレゼンテーションを繰り返し、より良くターゲットに伝える方法を習得する。
 ・イベント出店を目標とし、SNSでの発信における表現方法、対面販売についてのPR方法を習得する

90分/コマ	後期	後期
1・2	【ロハスフェスタ】ワークショップ準備 ※春休み中	31 たつのワークショップ準備
3・4	【ロハスフェスタ】ワークショップ準備	32 たつのワークショップ準備①
5・6	【ロハスフェスタ】ワークショップ準備	33 たつのワークショップ準備②
7・8	【ロハスフェスタ】ワークショップ準備	34 たつのワークショップ準備③ ポスター作成
9・10	①自己紹介マップ マス受け・コアコミュニケーション	35 たつのワークショップ準備④
11・12	マップ製作	36 たつのワークショップ準備⑤
13・14	②マップ発表・プレゼンテーション SNSでの商品紹介・文章表現	37 たつのワークショップ 清算・振り返り
15・16	写真撮影 作業	38 HMJ 準備
17・18	③文章表現 プレゼンテーション 対面販売でのPR 商品の売り方・リピーターの作り方	39 HMJ 什器発注
19・20	レポート作成	40 HMJ 準備
21・22	たつのワークショップ準備 説明会 レザー分類	41 HMJポスター撮影
23・24	試作	42 HMJポスター編集
25・26	プレゼンテーション ワークショップ内容決定	43 HMJ商品写真撮影
27・28	試作(全員)	44 商品カタログ作成
29・30	テスト	45 テスト

【成績評価方法】

課題作品評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

ファッション雑誌

【教材・教具】

筆記用具、デザインパッド、彩色用具一式

科目名	マーケティング演習	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	前期
コース	ファッション雑貨デザインコース		
学年	2年	授業形態	講義40% 実習60%
時間数	30	作成者	道仲 阿子
【科目の到達目標】 販売技術を向上させ、VMDへの理解を深める。 販売員が店頭管理する重要性が分かり、買いやすく、メンテナンスしやすい売り場作りができる。			
【科目の概要】 顧客心理を理解し、実店舗で販売する際に必要なVMD基礎知識を学ぶ。			
【授業計画】 90分/コマ			
1 接客の言葉使い 2 購買心理の理解 3 イベント準備 4 イベントレポート 5 お客様のニーズ 6 商品提案 7 タイプ別接客 8 接客と動線 9 体験型の店舗 10 リサーチ 11 ゾーニング 12 売り場診断 13 再編集 14 上安祭 PLAN 15 上安祭準備 期末試験			
【成績評価方法】 提出物評価40% テスト40% 授業態度20%			
【教科書・参考書】 プリントを配布			
【教材・教具】 筆記用具 色鉛筆			

科目名	フォトデザイン	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	通年
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	2年生	授業形態	講義 40% 実習 60%
時間数	60	作成者	図師 雅紀

【科目の到達目標】

- ①; 写真と画像の違いを理解出来し、ポートフォリオ作成に役立てられるようになる
 ②; ポートフォリオ用の写真撮影スキルの向上

【科目の概要】

スマートフォンの拡充により、写真が身近になっただけに人と差が付けられる写真を撮る技術は必要不可欠な要素
 講義を中心に、得られた知識を普段使っているスマートフォンを使って体感する

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1	デザイナーとポートフォリオ	16 制作物を活かす撮影
2	撮影実習①	17 撮影実習⑦
3	スマートフォンとデジタルカメラの違い	18 プロカメラマンの撮影技術
4	撮影実習②	19 撮影実習⑧
5	スマートフォンで撮る為に…	20 ポートフォリオを作ってみる
6	撮影実習③	21 ポートフォリオを作ってみる②
7	プリント実習①	22 ポートフォリオを作ってみる③
8	「光」を知る・理解する	23 キャプションの大切さ
9	撮影実習④	24 みんなのポートフォリオを作ってみる
10	画像編集実習①	25 みんなのポートフォリオを作ってみる②
11	撮影実習⑤	26 みんなのポートフォリオを作ってみる③
12	写真と画像	27 みんなのポートフォリオを作ってみる④
13	撮影実習⑥	28 ポートフォリオは自分自身
14	写真の見方	29 Web 用ポートフォリオ
15	期末考査	30 期末考査

【成績評価方法】

提出物評価70% テスト20% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プロジェクターにて図師作成のレジメを投影

【教材・教具】

筆記用具・個人所有のスマートフォン

科目名	デザイン史&概論	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	通年
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	2年生	授業形態	講義 70% 実習 30%
時間数	60	作成者	高木 義隆

【科目の到達目標】

ファッションを成立させている文化や社会、歴史的背景を知り、現在のファッションの意味(ファッションとは何か?)多様な視点で読み解き、今後の企画、発送等に活かす。

【科目の概要】

服飾文化は、その社会や文化的背景と密接に関わりながら変化し、現在のファッションを成立させている。特に高消費社会を迎えた20世紀において、美術、造形・デザインにおける潮流や著名な作品を解説しながらファッションを文化的な現象として体系的に捉える。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	デザインとは何か? ・日本の経営者		16 ⑳(番外編)神話と宗教
2	①ゴシック、②ルネサンス、③ガーデンベルグ		17 ㉑オペアート、㉒スカンジナビアモダン、 ㉓ミニマリズム
3	④バロック、⑤ロココ、⑥アーツ&クラフツ ・映マリーアントワネット		18 ㉔スペースエイジ、㉕プリコラージュ、 ㉖サイケデリック
4	レポート作成1		19 ㉗アーキグラム、㉘東京オリンピック1964、 ㉙ヒプノシス
5	⑦ジャポニズム、⑧ベル・エポック ・映ムーランルージュ		20 レポート作成3
6	⑨アール・ヌーボー、⑩ユーゲントシュティール ⑪ウイーン工房		21 発表1
7	⑫ドイツ工作連盟、⑬キュビズム、⑭未来派		22 ㉚スーパーリアリズム、㉛ハプティクス ㉜ポストモダニズム
8	⑮ロシア・アバンギャルド、⑯ダダイズム ⑰モダニズム		23 ㉝ノーデザイン、㉞ユニバーサルデザイン、 ㉟アフオーダンス、㊱サステナビリティ
9	⑰デ・スティール、⑱バウハウス		24 ㊲メンフィス、㊳トマト、㊴ドローク
10	⑳アール・デコ ・ザグラーとギャッツビー ・シヤネル		25 ㊵(番外編)音楽
11	レポート作成2		26 ㊶(番外編)アート
12	㉑アイソタイプ、㉒インダストリアルデザイン ㉓インターナショナルスタイル		27 レポート作成4
13	㉔ミッドセンチュリー、㉕オーガニックデザイン		28 発表2
14	㉖CIデザイン、㉗スイススタイル		29 ㉘クリエイティブコモンズ ～パーソナルアプリケーション
15	前期末試験		30 学年末試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

適宜プリントを配布 石川まさる(2015)「絵ときデザイン史」

【教材・教具】

筆記用具、クリアファイル(40P)、PC、モニター(プロジェクター)

科目名	素材論	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	前期
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	2年生	授業形態	講義 90% 実習 10%
時間数	14	作成者	佐山 孝典

【科目の到達目標】

ファッション雑貨類の作品制作や実務における企画デザインの際に、製品に適した素材選定のための基礎知識を修得する。

【科目の概要】

企画やデザインにおいて素材の知識と製造に適した素材選定は非常に重要である。アパレル製品の素材を中心に、ファッション雑貨に特化した素材の特性を解説する。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 ファッション業界の概要
- 2 繊維と糸 素材と生地種類 織り組織(3原組織) 編み組織(経編 緯編)
- 3 天然繊維:植物繊維 動物繊維
- 4 化学繊維:合成繊維 半合成繊維 再生繊維
- 5 革(毛皮):組織 製法・加工 種類 (エコレザー エコファー)
- 6 染色 プリント(捺染 インクジェット) 加工
- 7 試験

【成績評価方法】

授業レポート:60% 試験:30% 授業態度:10%

【教科書・参考書】

『テキスタイル用語辞典』 成田典子著 株式会社テキスタイル・ツリー 2012年第2刷り

【教材・教具】

教材:レジュメ、ノート、筆記用具、素材添付作業(のり、ハサミ、台紙)
 教具:解説画像投影用:大型TV PCまたはタブレット